

広告



未来医療国際拠点・中之島クロス 4F  
大阪中之島整形外科(北区中之島)

今年4月、未来医療国際拠点・中之島クロスの4階に開院した大阪中之島整形外科では、進化し続ける整形外科の医療技術と知識を結集した診療を行っている。ロボットや関節鏡を用いた低侵襲手術、再生医療、理学療法など、低侵襲でありながら高い効果が期待できる治療を追求。老若男女を問わず、レクリエーションレベルから競技レベルのスポーツ選手まで、あらゆるステージに対応した医療を提供し、患者の健康に寄与している。



ロボットを使用したリハビリなど  
多彩なプログラム

リハビリテーションプログラムは、急性期から回復期、そして維持期に至るまで包括的に対応している。急性期においては、早期回復と病状の進行を抑制。回復期では、社会復帰やスポーツ復帰を目指したトレーニングが提供され、日常生活に戻るための準備が進められる。

維持期においては、安定した状態を維持し、再発を防ぐためのプログラムが実施される。また、ロボットを使用したリハビリテーションは、特定の運動や筋力向上に焦点を当て、患者一人ひとりの状態に合わせた効果的な治療が可能となる。このように、患者にとって最適なリハビリテーションを提供することで、より良い回復が期待される。

多くの患者が、股関節や膝関節の痛みに悩まされてきた。その中でも特に注目を集めているのが、近年急速に普及しつつあるロボット支援による人工関節手術だ。この技術により、手術の精度が飛躍的に向上し、従来の手術方法では難しかった正確な操作が可能になった。さらに、ロボット支援手術は、術後の痛みの軽減や、患者の早期回復も期待でき

は、4月の開院からすでに14件の人工関節手術を行っています(※)。そのうち99%がロボット支援手術によるもので、多くの方の活動的な生活を取り戻す一助となっています。西村先生、医療技術の発展により、従来よりも効果的な手術が可能となっている。ロボット支援手術の普及は、今後多くの患者にとって希望の光となるだろう。



3.5ヶ月で124件<sup>\*2</sup>  
の人工関節手術を実施

\*1 厚生労働省 介護予防の推進に向けた運動器疾患対策について 報告書(平成20年7月)  
\*2 2024年4月1日~8月9日実績

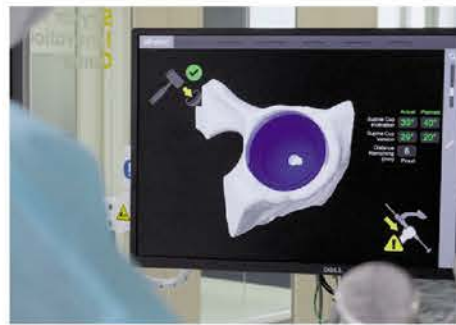
人工関節手術後の合併症リスク低減  
人工関節全置換術において、脱臼は最も困難な合併症の一つとして知られている。特に注目されているのは、人工股関節全置換術における術後脱臼率の低減であり、これは患者の生活の質を維持するために不可欠な課題である。

人工関節手術

ロボット支援手術で  
新しい日常へ



新しい医療技術が整形外科手術の未来を変える



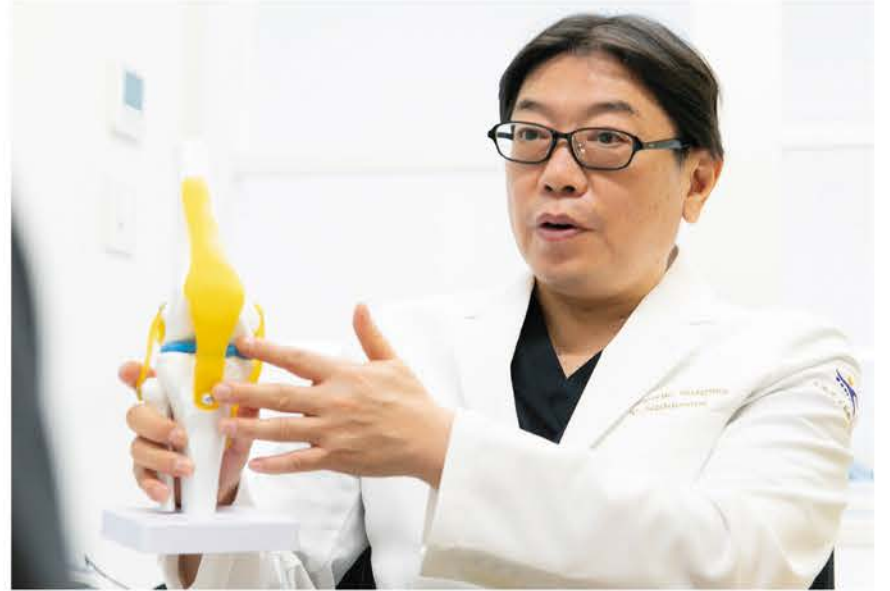
3次元CT骨モデルにより  
精密な手術が可能に  
ロボットによる人工関節手術は、3次元CTスキャンに基づいて作成された骨モデルを使用。患者一人ひとりの解剖学的特徴に合わせて、軟部組織のバランスを確認しながら手術を進められる。従来の方法では難しかった細部まで正確に対応可能。手術の精度が高まることで、患者にかかる負担の軽減が期待できる。

低侵襲手術のため  
早期回復に期待  
ロボットによる手術は、組織へのダメージを抑えることができるため、患者は術後の疼痛の低減が期待できる。ほか、患者の入院期間短縮にもつながる。早期に社会復帰や自宅での生活が可能となれば、患者やその家族にとってメリットとなる。ロボット支援手術は、医療の現場において患者の負担を減らし、効果的かつ効果的な治療を提供するための重要な手段となっている。

3次元CT骨モデルにより  
精密な手術が可能に

低侵襲手術のため  
早期回復に期待

変形性膝関節症は、一定以上の年代においてともありふれた疾患だ。日本では、変形性膝関節症による膝の痛みを抱えている患者が約1千万人に達しており、レントゲンで異常が認められる推定有病者数を含めると、その数は約3千万人にも及ぶ(※)。「年だから仕方ない」と考え諦める方も少なくないが、適切な治療を受けることで、生活の質を維持・向上させることができる。そんな変形性膝関節症の治療について、大阪中之島整形外科の西村岳洋先生に伺った。



大阪中之島整形外科  
人工関節 西村 岳洋

(公社)日本整形外科学会認定 整形外科専門医、(一社)日本リウマチ学会認定 リウマチ専門医  
1999年徳島大学医学部を卒業後、大阪大学整形外科へ入局。その後、さまざまな医療機関で研鑽を積み、2004年に市立吹田市民病院の整形外科へ、2015年より整形外科部長。2024年4月に大阪中之島整形外科を立ち上げ、人工関節を担当している。



Nakanoshima Cross  
未来医療国際拠点

院長 米谷 泰一

今年6月に全面開業した未来医療国際拠点「中之島クロス」は、大阪市北区中之島に誕生した新たな医療拠点です。地上16階、延床面積約5.7万平方メートルにわたるこの施設は、医療機関、企業、スタートアップ、支援機関が一堂に集まり、未来医療の産業化を推進する他に類を見ない拠点となっています。ここでは、各企業や医療機関が密接に連携し、再生医療を基盤にしたゲノム医療やAI、IoTなどの先端技術を活用し、未来医療の実現を目指しています。これにより、医療技術の産業化を加速させ、国内外の患者に対して新たな医療を提供することで、国際的な貢献を果たすことを目標としています。



大阪中之島整形外科

〒530-0005  
大阪府大阪市北区中之島4丁目3番51号  
Nakanoshima Cross 4F  
FAX: 06-6136-5972 URL: https://team-onoc.com

ご予約 TEL: 06-6136-5222

診療科目 整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	●	●	●	●	●	●	/
16:00~19:00	●	●	●	●	●	●	/

休診日・・・土曜午後、日・祝



「京阪中之島線「中之島駅」「渡辺橋駅」——徒歩約5分  
Osaka Metro四つ橋線「肥後橋駅」/JR大阪環状線「福島駅」  
JR東西線「新福島駅」/阪神本線「福島駅」——各徒歩約10分  
大阪シティバス JR大阪駅前より  
53号・75号系統で「中之島四丁目」下車——徒歩約1分